

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成22年3月16日

【会社名】 株式会社ココカラファイン ホールディングス

【英訳名】 cocokara fine HOLDINGS Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 塚本 厚志

【本店の所在の場所】 東京都大田区山王二丁目1番7号

【電話番号】 03(5753)5500

【事務連絡者氏名】 取締役財務経理本部長 上田 清

【最寄りの連絡場所】 大阪市中央区南船場二丁目7番30号

【電話番号】 06(6267)0531

【事務連絡者氏名】 取締役財務経理本部長 上田 清

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社ココカラファイン ホールディングス大阪本部
(大阪市中央区南船場二丁目7番30号)

1 【提出理由】

当社は、平成22年3月16日開催の取締役会における決議を経て、株式会社アライドハーツ・ホールディングスとの合併に関する基本合意書を当社、株式会社アライドハーツ・ホールディングスとの間で締結致しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項および企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第7号の3の規定に基づき、本報告書を提出致します。

2 【報告内容】

イ. 当該吸収合併の相手会社についての事項

(1) 商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金又は出資の額、純資産の額、総資産の額及び事業内容

商号	株式会社アライドハーツ・ホールディングス
本店の所在地	神戸市中央区橘通四丁目2番13号
代表者の氏名	代表取締役社長 石橋 一郎
資本金の額	1,442百万円（平成21年11月15日現在）
純資産の額	（連結）12,161百万円（平成21年11月15日現在） （単体）8,991百万円（平成21年11月15日現在）
総資産の額	（連結）36,450百万円（平成21年11月15日現在） （単体）30,377百万円（平成21年11月15日現在）
事業の内容	ドラッグストア・調剤薬局の経営

(2) 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

〔連結〕 (単位：百万円)

決算期	平成19年11月期	平成20年11月期	平成21年11月期
売上高	103,543	102,056	100,277
営業利益	3,207	3,400	3,412
経常利益	3,680	3,883	3,929
当期純利益	904	2,061	1,691

〔単体〕 (単位：百万円)

決算期	平成19年11月期	平成20年11月期	平成21年11月期
売上高	78,445	77,755	77,730
営業利益	448	424	495
経常利益	704	732	810
当期純利益	399	426	474

(3) 大株主の氏名又は名称及び発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合

氏名又は名称	発行済株式の総数に占める持株数の割合(%)
石橋 一郎	14.10
アライドハーツ従業員持株会	5.81
山本 健一	4.93
熊澤 厚生	4.92
株式会社イシバシ	4.57

(注) 上記は、平成21年11月15日現在の大株主の状況であります。

(4) 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係 : 該当事項はありません。

人的関係 : 該当事項はありません。

取引関係 : 該当事項はありません。

ロ. 当該吸収合併の目的

近年の医療制度改革により、国民の健康に対する意識が高まり、「自分自身の健康は自らが守る」という「セルフメディケーション時代」へと急速に移行することが予想されます。当社及び株式会社アライドハーツ・ホールディングスの属するドラッグストア業界は、セルフメディケーションの一翼を担う機関として、その機能を高め、充実させていくことにより、次世代の医療体制・国民の健康維持に貢献できるものと考えます。

またドラッグストア業界は、本格施行された改正薬事法を背景とする規制緩和により、異業種の参入が始まり、M & A や資本・業務提携等の業界再編が加速する中、企業独自の明確な差異化戦略が必要不可欠になってまいりました。健康に携わる小売業としての「質の向上」と「業容の拡大」を、スピードを上げて推進すべき時期を迎えました。

このような環境下において、当社と株式会社アライドハーツ・ホールディングスは、「ドラッグストア業界トップクラスの規模・業績を獲得」、「エアロドミナント強化」、「ドラッグストア業界で調剤売上高が圧倒的トップ、マーケットリーダーの地位を確立」を目的として合併することで更なる企業価値向上に努め、業界のコア企業を目指します。

ハ. 当該吸収合併の方法、吸収合併消滅会社となる会社の株式1株に割り当てられる吸収合併存続会社となる会社の株式の数又は持分の内容、その他の基本合意書の内容

(1) 吸収合併の方法

当社を吸収合併存続会社とし、株式会社アライドハーツ・ホールディングスを吸収合併消滅会社として合併します。また、本合併の効力発生日において、当社(吸収合併存続会社)の商号を株式会社ココカラファインに変更致します。

(2) 吸収合併消滅会社となる会社の株式1株に割り当てられる吸収合併存続会社となる会社の株式の数又は持分の内容

株式会社アライドハーツ・ホールディングスの普通株式1株に対し、当社の普通株式0.65株を割り当てる予定です。ただし、株式会社アライドハーツ・ホールディングスは、平成22年4月1日付で株式会社アライドハーツ・ホールディングスの普通株式5株を1株とする株式併合を予定しており、上記比率は、かかる株式併合が実施されることを前提としています。なお、かかる株式併合前の本報告書提出時点では、株式会社アライドハーツ・ホールディングスの普通株式1株に対し、当社の普通株式0.13株を割り当てる計算になります。また、株式会社アライドハーツ・ホールディングスが保有する自己株式（平成22年2月15日現在：12,426株）に対しては、合併による株式の割当は行いません。また、本合併により、株式会社アライドハーツ・ホールディングスの株主に交付しなければならない当社の普通株式の数に1株に満たない端数が生じた場合には、会社法第234条その他関連法令の規定に従い、当該株主に対し1株に満たない端数部分に応じた金額をお支払い致します。ただし、上記合併比率は、算定の基礎となる諸条件に重大な変更が生じた場合は、両社協議の上、変更することがあります。

(3) 今後の日程（予定）

平成22年4月30日	合併契約書承認取締役会
平成22年4月30日	合併契約書の締結
平成22年6月25日	当社の定時株主総会にて合併契約書を承認
平成22年6月25日	株式会社アライドハーツ・ホールディングスの臨時株主総会にて合併契約書を承認
平成22年9月28日	株式会社アライドハーツ・ホールディングス上場廃止日
平成22年10月1日	当該吸収合併の効力発生日

(4) その他の基本合意書の内容

当社及び株式会社アライドハーツ・ホールディングスは、基本合意書の有効期間中、経営統合、資本提携及び包括的業務提携につき、相手方に独占的交渉権を付与するものとし、相手方の事前の同意がない限り相手方以外の第三者との間で、自らまたはその子会社が当事者となる吸収合併、新設合併、株式交換、株式移転、新設分割、吸収分割、事業の全部もしくは重要な一部の譲渡、募集株式の発行等、主要株主の異動、包括的業務提携契約の締結、その他自らまたは子会社の事業にかかる経営権の移動をもたらす一切の行為に関する勧誘または交渉を行わない。

株式会社アライドハーツ・ホールディングスの新株予約権の取扱いについては、当社及び株式会社アライドハーツ・ホールディングスの間で締結する吸収合併契約その他本件統合に関する最終的な合意内容を定める最終契約に定める。

二. 吸収合併に係る割当ての比率の算定根拠

(1) 算定の基礎および経緯

当社及び株式会社アライドハーツ・ホールディングスは、本合併に用いられる合併比率の算定に当たって公正性を期すため、当社は株式会社三菱東京UFJ銀行（以下、「三菱東京UFJ銀行」といいます。）、株式会社アライドハーツ・ホールディングスは株式会社みずほ銀行（以下、「みずほ銀行」といいます。）に対して合併に用いられる合併比率の算定を依頼し、それぞれ合併比率算定書を受領いたしました。

三菱東京UFJ銀行は、両社について市場株価平均法及びディスカунティッド・キャッシュ・フロー法（以下、「DCF法」といいます。）を採用して算定を行いました。三菱東京UFJ銀行による算定結果の概要は以下のとおりです。なお、下記の合併比率の評価レンジは、株式会社アライドハーツ・ホールディングスの普通株式1株に割当てる当社の普通株式の評価レンジを記載したものです。

ただし、株式会社アライドハーツ・ホールディングスは、平成22年4月1日付で株式会社アライドハーツ・ホールディングスの普通株式5株を1株とする株式併合を予定しており、下記比率は、かかる株式併合が実施されることを前提としています。

採用方法	合併比率の評価レンジ
市場株価平均法	0.62～0.67
DCF法	0.55～1.14

なお、市場株価平均法については、平成22年3月12日を算定基準日として、それぞれ1ヶ月、2ヶ月、及び3ヶ月間の終値平均株価を採用いたしました。三菱東京UFJ銀行は、合併比率の算定に関して、両社から提供を受けた情報及び公開情報が正確かつ完全であること、合併比率の算定に重大な影響を与える可能性がある事実で三菱東京UFJ銀行に対して未開示の事実はないこと等の種々の前提を置いており、かつ、それらの正確性・完全性・個別の資産及び負債については独自の検証を行っておりません。また、両社の財務見通しについては、両社により得られる最善の予測及び判断に基づき合理的に準備・作成されたことを前提としております。三菱東京UFJ銀行の算定は、平成22年3月12日現在までに入手した情報と当該時点までの経済情勢を基礎としております。

みずほ銀行は、両社について市場株価平均法及びディスカунティッド・キャッシュ・フロー法（以下、「DCF法」といいます。）を採用して算定を行いました。みずほ銀行による算定結果の概要は以下のとおりです。なお、下記の合併比率の評価レンジは、株式会社アライドハーツ・ホールディングスの普通株式1株に割当てる当社の普通株式の評価レンジを記載したものです。

ただし、株式会社アライドハーツ・ホールディングスは、平成22年4月1日付で株式会社アライドハーツ・ホールディングスの普通株式5株を1株とする株式併合を予定しており、下記比率は、かかる株式併合が実施されることを前提としています。

採用方法	合併比率の評価レンジ
市場株価平均法	0.58～0.68
DCF法	0.77～0.80

なお、市場株価平均法については、平成22年3月12日を算定基準日として、それぞれ1ヶ月、3ヶ月、及び6ヶ月間の終値平均株価および出来高加重平均株価を採用いたしました。みずほ銀行は、合併比率の算定に関して、両社から提供を受けた情報及び公開情報が正確かつ完全であること、合併比率の算定に重大な影響を与える可能性がある事実でみずほ銀行に対して未開示の事実はないこと等の種々の前提を置いており、かつ、個別の資産・負債については独自の評価又は査定を行っておりません。また、両社の財務見通しについては、両社により得られる最善の予測及び判断に基づき合理的に準備・作成されたことを前提としております。みずほ銀行の算定は、平成22年3月12日現在までに入手された情報と当該時点までの経済情勢を基礎としております。

以上のとおり、当社は三菱東京UFJ銀行に、株式会社アライドハーツ・ホールディングスはみずほ銀行に、それぞれ本合併に用いられる合併比率の算定を依頼し、当該第三者機関による算定結果を参考に、それぞれ両社の財務の状況、資産の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、両社で合併比率について慎重に協議を重ねた結果、平成22年3月16日付にて、最終的に上記合併比率が妥当であるとの合意に至りました。

(2) 算定機関との関係

当社のフィナンシャル・アドバイザー（算定機関）である株式会社三菱東京UFJ銀行は、当社及び株式会社アライドハーツ・ホールディングスの関連当事者には該当せず、本合併に関して記載すべき重要な利害関係を有しません。

また、株式会社アライドハーツ・ホールディングスのフィナンシャル・アドバイザー（算定機関）である株式会社みずほ銀行は、当社及び株式会社アライドハーツ・ホールディングスの関連当事者には該当せず、本合併に関して記載すべき重要な利害関係を有しません。

ホ. 当該吸収合併の後の吸収合併存続会社となる会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金又は出資の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	: 株式会社ココカラファイン : (英文名 cocokara fine Inc.)
本店の所在地	: 東京都大田区山王二丁目1番7号
代表者の氏名	: 代表取締役社長 塚本 厚志 : 代表取締役副社長 石橋 一郎 : 代表取締役副社長 上田 清
資本金	: 現在未定であり、今後協議の上会計処理を検討致します。
純資産の額	: 現在未定であり、今後協議の上会計処理を検討致します。
総資産の額	: 現在未定であり、今後協議の上会計処理を検討致します。
事業の内容	: ドラッグストア・調剤薬局の経営、及び卸売業

当該吸収合併の後も、合併新会社は東京証券取引所市場第一部への上場を維持する予定であります。

なお、当該吸収合併に必要な事項は、今後両社協議のうえ決定し、合併契約書の締結次第、臨時報告書の訂正報告書を提出致します。